

特別展

良寛さん

りょうかん

— その人と禅 —

Ryōkan,
the Man and his Zen

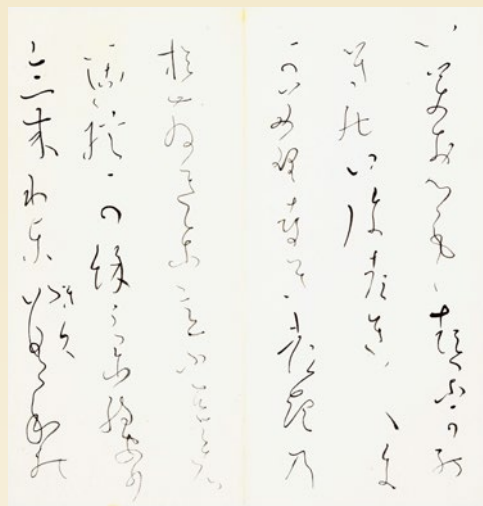
2026年
9月12日 | 土 | —
11月8日 | 日 |

*一部展示替えあり

開館時間＝午前10時～午後5時
休館日＝月曜日、9月24日[木]、10月13日[火]
*ただし、9月21日[月・祝]、10月12日[月・祝]は開館
入館料＝一般 2,000円 学生 1,500円
主催＝細見美術館 京都新聞
後援＝全国良寛会 京都市内博物館施設連絡協議会
会場＝細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町 6-3
TEL 075-752-5555 <http://www.emuseum.or.jp>
*会期・営業日時等を変更する場合があります。最新情報はWEBサイトをご覧ください。

《風文字 天上大風》 良寛筆 江戸後期 個人蔵
《良寛所持 鉢の子》 江戸後期 個人蔵

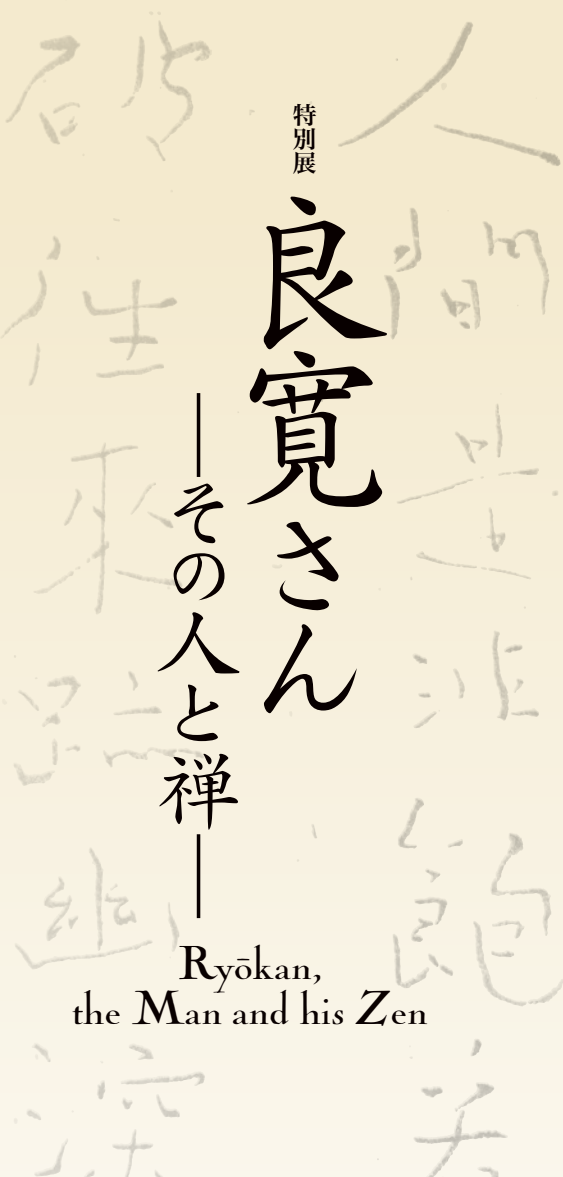




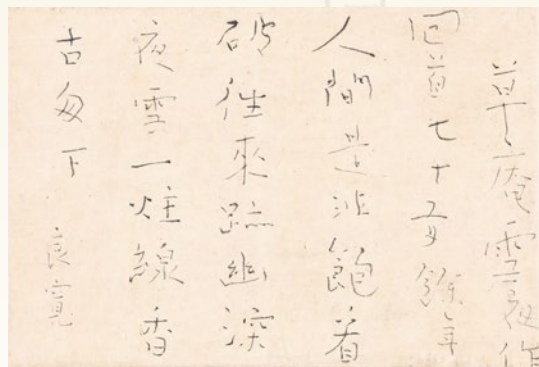
2

良寛（一七五八―一八三二）は、越後出雲崎（現・新潟県三島郡出雲崎町）の地主の長男として生まれながら、出家して清貧を貫いた禅僧です。草庵で独り厳しい生活を送りつつ、子どもと戯れ、友と交わり、多くの漢詩や和歌を残しました。ことに、その書は「日本書美の極致」とも称えられるほど、芸術性が高く独創的なことで知られています。

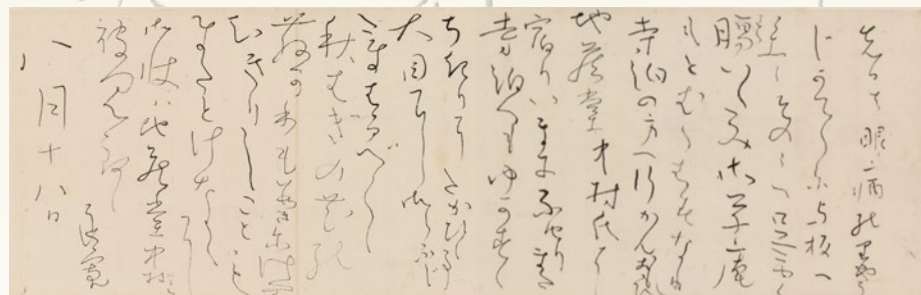
本展では、良寛の代表作でありながら長らく公開されなかった《風文字 天上大風》や《長歌 月の兎》をはじめ、珠玉の作品を一堂に展示いたします。



1

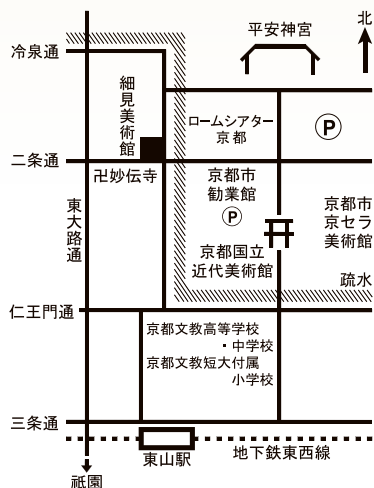


4

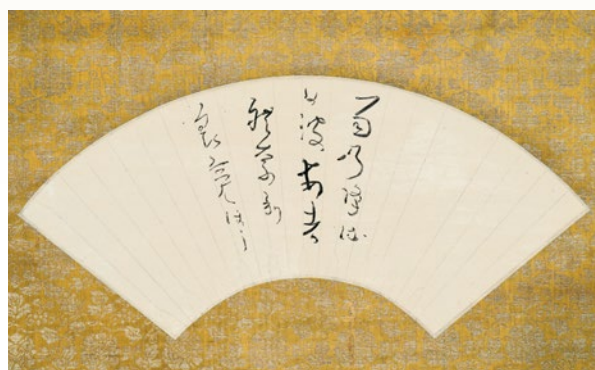


3

1. 自画像 袖裏繡襦直千金 2. 長歌 月の兎 折帖より いまのおつとも 3. 書簡 真心尼宛 先日は眼病の
4. 漢詩 草庵雪夜作 5. 扇面 俳諧 雨の降る日は *すべて良寛筆 江戸後期 個人蔵



- 市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩3分。
 - 市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩5分。
 - 地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩10分。
- ご来館には公共交通機関をご利用ください。



5

HOSOMI MUSEUM

京都市左京区岡崎最勝寺町 6-3
TEL 075-752-5555 <http://www.emuseum.or.jp>



第52回アートキューブレクチャー 野の禅僧 良寛の書

*有料・事前申込制

[日時] 2026年9月12日(土)

午後2時～3時30分

[講師] 小島正芳氏

(本展監修者・全国良寛会会長)

[会場] 京都市勧業館みやこめっせ
大会議室

*詳細・申込方法はWEBサイトをご覧ください。

これからの
展覧会

巨匠ハインツ・ヴェルナーの描いた物語
—現代マイセンの磁器芸術—

[会期]

2026年11月21日(土)～2027年1月31日(日)